

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-1	中学校	音楽	一般	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 702	中学生の音楽 1		

1. 編修の基本方針

編修の趣旨

私たちは音楽科の学習を通して、生徒に「このような資質・能力を育みたい」と願いました。

- 音楽を通して社会と関わりながら豊かな人生を切り拓く力。
- 音楽の幅広い知識や技能。
- 主体的・対話的で深い学びの実現によって得られる、汎用性の高い学力。

こうした課題に取り組むために、次のようなことに留意して編修いたしました。

3つの 基本方針

基本方針

1

音楽で生活を豊かにする心を育みます。

音楽で社会や身の回りの人々につながる学びを促します。



基本方針

2

音楽科の確かな学力を育みます。

質の高い教材と、的確な学び方の提示によって確かな学びを支えます。



基本方針

3

主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促します。

課題意識をもって、友達と対話、協働しながら学習することで、学びの質を深めます。



音楽で生活を豊かにする心を育みます。 音楽で社会や身の回りの人々をつなげる学びを促します。

1 我が国の伝統や文化への扉を開き、関心や理解を深めます。



「伝統をつなぐ」

人間は昔から、人間の生きている様子をさまざまな表現方法でいきいきと描いてきました。そうして現在まで受け継がれてきたものが、国境を超えて残されているということは、時代が違っても、国が違っても、人間はそれほど変わらないということもあると思います。日本の伝統芸術の世界は、「型」という、代々受け継がれ洗練されてきた表現様式を通して、現在まで伝統をつないできました。私たちは昔、祖先が代々つないできた線（のちの線）にある「現在」という点に生きているのです。

とはいっても、伝統芸術を理解するのはなかなか難しいですね。それはしかたのないことです。演じる者ですら、作品の解釈についてあでもないこうでもない日々考えをめぐらせているのですから。しかし、「分からない」という状態はとても重要です。「分からない」は、「分らないのきっかけにすることがあるからです。」「分からないからノーサンキュー」ではなく、「分らないものを「分らない」と思うことが、学びのいちばんの根拠にあるのです。また、「つまらない」と思ったときも、なぜそれがつまらないのかを考えてみると、むしろおもしろさ、奥の深さに気付かされると思います。皆さんはこれから、さまざまな場面たくさん「分らない」に出会うでしょう。そのときはまず、分からないことを喜びましょう。それが、おもしろさを理解する第一歩となるはずです。



野村高彦

舞臺芸術、舞村万作の養子として舞臺、3歳より祖父・歌六野村万作、父・万作に師事。国内外で多数の舞臺・歌六公演に参加。舞臺に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台演出など幅広く活躍。

「タイムライン・ダンス」演出：野村高彦
撮影：石川博明 ©KOS-CREA

(p.2・3)

2 音楽を通して多様性を学び、他者や他国を尊重する姿勢を育みます。



音楽ってなんだろう？ 世界をつなげる

音楽は、人がいるところ、どこにもあります。でも、国や文化によって、音楽もさまざまに異なっています。音色の好みも、音のなり方も、楽器も違います。異なった文化圏の人からすると、「これが音楽？」とおもえるようなこともあるかもしれません。

二人な人、あんな人、こんなことば、あんなことばがあるように、こんな音楽、あんな音楽があり、それぞれに個性があります。

好きな音楽、嫌いな音楽があります。好きじゃないけどおもしろい音楽、気になる音楽もあるかもしれません。単純に「好き・嫌い」だけでなく、一つの種をもつことで、それぞれの音楽——だけでなく、人のこと、ことばのこと、など——を尊敬できるのではないでしょうか。

小宮真一（音楽・文芸批評家）

(p.4・5)

音楽科の確かな学力を育みます。

質の高い教材と、的確な学び方の提示によって確かな学びを支えます。

1 学習目標の実現に適した教材と的確な活動文が、学習を支えます。

学習のねらいや活動の手順を
分かりやすく示しています。

教材

活動文

学習目標

音楽を形づくっている要素

(p.28)

2 見やすく、スッキリとした紙面がスムーズな学習を実現します。

インクルーシブ教育の実現を目指し、特別支援教育や色覚特性の多様性などの観点から、基本的に白を基調とした紙面とし、情報の配置にも配慮しました。

リズムゲーム

リズムアンサンブル

リズムチャレンジ

(p.16・17)

3 見通しをもった学びを実現します。

目次の後に、1年間の学びを俯瞰できるページを掲載しました。

「中学生の音楽1」の学習内容

学習指導要領の内容と各教材の関連を視覚的に確認できます。

3

(p.8・9)

主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促します。 課題意識をもって、友達と対話、協働しながら学習することで、学びの質を深めます。

1 キャラクターが主体的・対話的な学習をサポートします。



(p.30)



(p.57)

2 主体的で対話的な学びを軸に学習を進めます。

音楽科の学習は従来から「主体的・対話的」な要素を多く含んでいます。この特性を活かし、「主体的・対話的で深い学び」により迫ることができるように工夫しました。

考える観点を例示しながら、主体的で対話的な学びを引き出します。

(p.22)

特に意を用いた点

国歌「君が代」の尊重

国歌「君が代」への意識を高められるページを、すぐに開くことができる最終ページに設けました。

国歌「君が代」がどのような場面で歌われるのかを例示しています。



(p.98・99)

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭口絵	狂言師、野村萬斎氏のインタビューを掲載し、我が国の伝統文化に親しみ尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	p.2・3
	音楽を通して多様性を学び、他者や他国を尊重する姿勢を育めるようにしました。(第五号)	p.4・5
歌唱教材	未来への希望をもつ内容の歌を通して、自らの能力を伸ばす態度を養えるようにしました。(第二号)	p.10～13
	歌を通して我が国の美しい自然に対する思いを高められる教材と学習活動を設定しました。(第四号)	p.24～29
	パートの役割を知り、各パートの役割をそれぞれが担うことを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第三号)	p.30～37
	我が国の民謡を歌唱教材として取り上げ、我が国の伝統的な歌唱の学習を確実に進められるように配慮しました。(第五号)	p.60・61
	英語の学習と関連付けられるように、英語で歌う教材を含めました。(第一号)	p.38
創作教材 (My Melody/Let's Create!)	旋律の音の進行の仕方や上がり下がりなどに着目して、旋律をつくる活動によって創造性を培えるようにしました。(第二号)	p.21～23
	さまざまな楽器などの音色を工夫しながら音楽を構成する学習活動を通して、創造性を培えるようにしました。(第二号)	p.40・41
	創作におけるグループ活動の中で、協働しながら学習を進められるような教材を含めました。(第三号)	p.40・41
鑑賞教材	我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統的な音楽文化や郷土の音楽を、明確な学習の観点のもとに学習できるように示しました。(第五号)	p.52～59
	他国を尊重する態度を育成するために、アジアの諸外国の伝統的な音楽を教材として取り上げました。(第五号)	p.64・65
その他の教材	簡単な音符や休符を使ったリズムの読み書きを確実に習得できるような教材を含めました。(第一号)	p.16・17
特集	音楽が生活や社会の中で果たしている役割に気付く学習活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第三号)	p.66
歌い継ごう日本の歌	他者を尊重し、季節や自然、故郷を大切に思う心を育てることのできる教材を取り上げました。(第三号、第四号、第五号)	p.68～71
	我が国で長く歌い継がれている歌を通して、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	p.68～71
心通う合唱	他者を尊重し、自然を愛する心を育てることのできる教材や、道徳的観点と関連付けられる教材を取り上げました。(第一号、第三号及び第四号)	p.72～92
国歌「君が代」	国歌「君が代」と同じく、他国の国歌をも尊重することを通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第五号)	p.98・99

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-1	中学校	音楽	一般	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 702	中学生の音楽 1		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 学習の流れを見通しながら、スムーズな学習ができます。

学習の手順を番号で示し、各段階で考えることを吹き出し等で示すなど、流れを分かりやすくしています。

学習の手順

吹き出し

(p.36・37)

2 主体的・対話的で深い学びを引き出します。

それぞれが意見を出し合いながら交換する様子を示す吹き出しによって、主体的・対話的で深い学びへのアプローチができます。

「はじめ」と「終わり」の場面を、同じにしたらどうかな？ 「はじめ」の音楽を反復させてみようよ。

それはいい考えだね。でも最後は変化させて、演奏を工夫してみてもいいかな？

(p.40)

私たちは林の風景を音楽にしました。晴れている林と雨の降る林の雰囲気の違いを、楽器の材質を変えて表現し、リズムは「はじめ」と「中」で対照的になるよう変化させました。

雨が上がったあとの林の穏やかな感じが伝わってきました。「終わり」は「はじめ」と同じだったので、戻ってきた安心感があったのだと思います。

(p.41)

3 我が国の伝統文化のよさに触れることができます。

我が国の伝統文化や身近にある伝統的な芸能に親しみ、愛着をもつことができます。



(p.58・59)

(p.62)

4 音楽に対する価値観や視野を広げることができます。

さまざまな音楽の共通性や固有性について考え、人々の生活と音楽との関わりに関心をもつことができます。

我が国の伝統音楽と聴き比べることで、学びが深まります。

聴き比べよう p.52 「平調 越天楽」

(p.64・65)



5 社会に開かれた音楽の営みを実感できます。

生活や社会に音楽がどのように役立っているのかを知ることを通して、社会に開かれた音楽の営みを実感することができます。



(p.66)

6 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点を反映しています。

写真やイラストの上の文字については、デザイン性を考慮しつつ、文字の見やすさにも配慮しました。



(p.24・25)

文字の読みやすさを重視し、背景が無地の部分に歌詞を配置しています。

背景を白地にして視認性を高めています。



(p.45)

7 ICT 機器の活用への対応も考慮しています。

学習をサポートする参考資料を、紙面上の二次元コードを読み取ることによって閲覧することができるようにしました。

(p.45)

チェンバロ奏者の鈴木優人さんに聞きました

<p>「春」の情景のイメージ</p> <p>この曲には情景が設定されているものの、どんな小鳥がどれぐらいの声の大きさを鳴いているのか、雷鳴は近くから遠くへ行くのかなどは演奏者が自由にイメージします。演奏前に皆でイメージを共有しますが、最終的には演奏しているときに耳で聴き合って、どのような音楽にするか音で会話をします。</p>	<p>演奏について</p> <p>作曲者のヴィヴァルディ(● p.46)が活躍した時代の合奏は、多くが上の写真のような小さな編成で行われていました。指揮者なしで演奏することも多く、この曲では独奏ヴァイオリンが演奏をリードします。勢いのある音楽をつくりたいときには皆で立って演奏し、一人一人が主体的に参加します。</p>	<p>通奏低音とは?</p> <p>私が弾いているチェンバロとオルガンは、通奏低音を担当しています。通奏低音とは、楽譜に書かれた低音パートの上に、和音を加えながら伴奏する方法です。即興で演奏する部分もたくさんありますし、どんな楽器を用いるかは基本的に自由です。</p>
--	--	---

楽曲について

「四季」は、独奏ヴァイオリン、弦楽合奏、通奏低音のための協奏曲*です。全部で春・夏・秋・冬の4曲からなり、それぞれの季節のソネット*が添えられています。「春」はその第1曲で、3つの楽章にまとめられています。

ここで聴く「春」の第1楽章は、合奏と独奏が交互に示されます。また、▲の□と同じような旋律が□以降でも各部分の間や最後に合奏で現れます。このような構成をリトルネット形式といいます。ヴィヴァルディの時代には、このような形式の作品が数多くつくられました。

*協奏曲(コンチェルト)…独奏楽器と合奏のための器楽曲。
*ソネット…13世紀頃からイタリアでつくられるようになった14行からなる詩のこと。

「春」のソネット全文原語と訳詞／パツハ・コレギウム・ジャパン／鈴木優人さん

8 教科書の特徴

基本事項	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次のような点を重視して編修しました。 ①音楽を愛好し、自らの生活に生かす心を育む。 ②音楽科の確かな学力を育む。 ③主体的・対話的に学習に取り組む態度を育てる。
	学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ、指導すべき内容項目は漏れなくおさえました。
内容	系統性	<ul style="list-style-type: none"> ●学年を通して、学習指導要領の内容に示された学習が段階的に進められるように、また上下の学年の学習とのつながりがスムーズになるように教材を選択・配列しています。
	配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●学習がスムーズに行えるように学習目標及び教材を配列し、学習内容の分量も適切になるように配慮しました。
	学習意欲・主体性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●目次とは別に、歌唱、創作、鑑賞の2領域3分野について、1年間の学びを俯瞰できるページを配置しました。(p.8・9)
	歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の声域や変声期などの心身の発達段階を考慮して、音域や難易度を吟味しました。
	創作教材	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の手順を分かりやすく示すとともに、吹き出しなどで生徒の思考の例を明示することによって、生徒の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるように工夫しました。
	鑑賞教材	<ul style="list-style-type: none"> ●鑑賞教材は生徒の発達段階と題材のねらいに合ったものを選択し、学習を進めるうえで有益な写真や譜例、資料などを合わせて示しました。
	(共通事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●学習目標の下には、その教材を指導する際の目安となる、[共通事項]に示された音楽を形づくっている要素を表示しました。(p.10～65)
	主体的・対話的で深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ●「主体的・対話的で深い学び」を実現するために参考となる学びの手順や工夫の視点を具体的に示しています。(p.19, 21～23, 30・31, 36・37, 40・41)
	伝統文化の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国の伝統的な音楽に親しみながら、それらのよさを感じ取り、愛着をもつことができるようにしました。(p.52～63)
	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解教育や外国語の学習との関連から、英語の歌を掲載しました。(p.38)
	社会とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ●生活や社会と音楽とのつながりを実感できる教材を掲載しました。(p.66)
その他	ICT 機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●紙面上の二次元コードに埋め込まれた URL を読み取ることによって、指導に資する画像などのコンテンツを閲覧することができるようにしました。
	特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の専門家から助言を得て、学習活動文の配置を工夫するとともに、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。
		<ul style="list-style-type: none"> ●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けが付きにくい生徒の色覚特性にも配慮した配色にしました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないようにしました。
文字・印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ●文字は見やすく、過度にデザイン的にならないように配慮しました。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●印刷は鮮明で、製本は開きがよく安全で堅牢な「糸中綴じ方式」を採用しました。6本の糸はそれぞれ独立しており、うち1本が損傷しても影響はごく軽微です。 	

2. 対照表

図書の構成		学習指導要領の内容																							
ページ	教材名	歌唱				創作			鑑賞						音楽を形づくっている要素										
		ア		イ		ウ		ア		イ		ウ		ア		イ		音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
		(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)									
10	We'll Find The Way	○	○	○	○	○											○								
12	その先へ	○	○	○	○	○														○		○			
14	My Voice!	○		○	○																				
16	リズムゲーム／リズムアンサンブル／リズムチャレンジ						○		○	○								○							○
18	主人は冷たい土の中に	○	○	○	○	○														○		○	○	○	○
20	My Voice!	○		○	○																				
21	My Melody						○	○		○								○		○					
24	浜辺の歌	○	○	○	○	○												○		○		○	○		
28	赤とんぼ	○	○	○	○	○														○		○			
30	朝の風に	○	○	○	○	○											○	○			○				
32	君をのせて	○	○	○	○	○														○	○	○			
34	Let's Search For Tomorrow	○	○	○	○	○													○	○	○	○	○		○
38	Edelweiss	○	○	○	○	○												○		○					
39	●映画「ジョーズ」から “ジョーズのテーマ”												○	○	○	○	○		○	○	○	○			
40	Let's Create!						○		○	○								○				○	○		○
42	指揮をしてみよう！												○		○	○			○	○		○	○		○
44	●春－第1楽章－												○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
48	●魔王												○	○	○	○	○		○	○	○	○			
52	●雅楽「平調 越天楽」												○	○	○	○	○	○		○	○				
56	●箏曲「六段の調」												○	○	○	○	○	○		○	○				○
58	●日本の民謡												○	○	○	○	○	○		○				○	
60	ソーラン節	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○		○	○				
64	●アジアの諸民族の音楽												○	○	○	○	○	○		○	○	○			
68	涙そうそう	○	○	○	○	○												○		○	○				
69	上を向いて歩こう	○	○	○	○	○												○		○					
70	ふるさと	○	○	○	○	○														○	○	○			
72	Forever	○	○	○	○	○												○		○	○	○			
73	飛び出そう 未来へ	○	○	○	○	○														○	○			○	
74	友達の友達	○	○	○	○	○														○	○	○		○	○
76	Yes!!	○	○	○	○	○														○	○			○	○
78	unlimited	○	○	○	○	○														○	○	○			
80	君は君でいい	○	○	○	○	○												○	○	○	○	○			
82	星座	○	○	○	○	○														○	○	○			
84	カリブ 夢の旅	○	○	○	○	○													○	○	○	○		○	○
86	マイ バラード	○	○	○	○	○													○	○	○	○		○	○
88	あすという日が	○	○	○	○	○												○		○	○		○	○	
90	COSMOS	○	○	○	○	○														○	○			○	○
98	国歌「君が代」	○	○	○	○	○														○	○				